

ハイドランジアの底面給水栽培における花色と用土及び施肥方法							
<p>[要約]ハイドランジアの底面給水栽培における用土は、花色が青色系品種は、赤玉土赤土、鹿沼土が、また赤色系品種は、フヨウライ、パーライト、ヤシガラ、杉皮が適する。肥料の給液濃度は、窒素・リン酸・カリを等量とした場合、青色系品種は鉢替え後の前期50ppm、中期100ppm、後期25ppmとし、赤色系品種は全期間を通して100ppm一定で管理すると品質のよい鉢花が生産できる。</p>							
園芸研究所・野菜花き部・花き花木研究室 生産環境研究所・化学部・作物栄養研究室					連絡先	092-922-4364 092-924-2939	
部会名	園芸	専門	栽培	対象	花き類	分類	普及

[背景・ねらい]

ハイドランジアの鉢物は、栽培管理の省力化を目的に底面給水栽培が導入されており、鉢用土は、軽量化のためピートモスを主体とした混合用土が用いられている。鉢物の品質は、青色系および赤色系品種ともに花色の鮮明さや株のボリュームによるが、混合用土に用いる資材の種類や施肥方法によっては花色が不鮮明となり、生育不良株が発生し問題となっている。

そこで、資材の種類や施肥方法について検討し、ハイドランジアの高品質生産技術を確立する。(要望機関名：久留米普(H9))

[成果の内容・特徴]

1. 青色系品種は、ピートモスに混合する資材として、赤玉土、赤土、鹿沼土を用いる。「ブルーダイヤモンド」の給液濃度は、窒素・リン酸・カリを等量とした場合、鉢替え後の1ヵ月間(前期)を50ppm、新梢が生育する次の1ヶ月間(中期)を100ppm、花房が発達する最終の1ヶ月間(後期)を25ppmとすると、花色が鮮やかで品質がよい(表1、2)。
2. 赤色系品種は、ピートモスに混合する資材として、フヨウライト、パーライト、ヤシガラ、杉皮を用いる。「グリュンヘルツ」は、給液濃度による花色の変化が少ないことから、100ppm一定で管理すると株のボリュームが優れる(表1)。

[成果の活用面・留意点]

1. 花き栽培技術指針に登載し、ハイドランジアの底面給水栽培における技術資料として活用できる。
2. ピートモスは、用土1Lあたりに炭酸苦土石灰を2~4g混入する。

[具体的データ]

表1 ピートモスに混合する用土の種類と花色 (平成10年)

混合用 土資材	用土調整時		花色	花色(色測値)			花房部の AI含有率
	pH	EC		L*	a*	b*	
		dS/m					%
赤玉土	5.3	0.07	青	47.0	19.3	-31.3	0.12
赤土	5.4	0.05	青	48.1	18.9	-31.8	0.16
鹿沼土	5.0	0.10	青	47.9	20.2	-31.1	0.09
ボラ砂	5.3	0.05	青紫	51.0	19.8	-26.0	0.05
真砂土	5.5	0.04	赤紫	58.8	25.5	-9.6	0.01
パーミキュライト	5.2	0.06	紫	55.9	27.6	-18.3	0.03
ココピット	5.2	0.07	ピンク	59.3	30.8	-3.7	0.02
パーライト	5.6	0.09	ピンク	59.8	31.1	-3.6	0.01
ヤシガラ	5.4	0.17	ピンク	58.5	32.4	-4.0	0.02
杉皮	5.0	0.09	ピンク	59.5	31.9	-3.2	0.01
ピートモス単用	5.3	0.12	ピンク	57.7	31.9	-3.7	0.01

注)1.品種 : 「ブルスカイ」

2.用土は、ピートモスに各資材を容量で25%混合。

3. pH調整 ; ピートモス1kg当たり炭酸苦土石灰を3g混入。

4. 花色(色測値) : L*値は明度、a*値は高いほど赤みが増し、

b*値は低いほど青みが増す。

表2 時期別給液濃度と花色および開花時の形質 (平成11年)

品 種	給液濃度			着色 初め 花色	花色(色測値)			総新 梢長	新梢 重	花房 重	葉色 SPAD	
	前期	中期	後期		L*	a*	b*					
ブダ	ppm			月/日				cm	g	g		
ルイ	50-	50-	50	4/6	青	58.1	9.1	-22.4	55.3	73	88	44.9
イヤ	75-	75-	75	4/8	青紫~紫	61.5	12.7	-15.0	61.9	89	108	59.6
モ	100-	100-	100	4/7	赤紫	64.7	14.6	-9.3	69.5	102	112	59.8
ン	50-	100-	50	4/5	青紫~紫	61.8	10.4	-17.5	58.9	86	115	61.5
ド	50-	100-	25	4/6	青	59.2	9.9	-23.3	61.4	89	104	51.0
グ	50-	50-	50	4/7	鮮赤	49.3	41.6	3.5	57.9	85	119	51.0
リ	75-	75-	75	4/5	鮮赤	50.5	39.6	3.5	69.6	116	141	58.6
ユヘ	100-	100-	100	4/5	鮮赤	51.4	39.9	4.6	75.0	125	156	66.3
ンル	50-	100-	50	4/7	鮮赤	51.3	40.8	4.1	68.1	107	120	58.7
ツ	50-	100-	25	4/7	鮮赤	49.3	41.7	3.7	66.0	103	126	52.3

注)1.鉢替え : 時期 1月20日, 用土は両品種ともピートモス単用。

2.用土のpH調整 : ピートモス1kg当たり炭酸苦土石灰を3g混入。

3.給液時期 : 前期は1月20日~2月19日, 中期は2月20日~3月19日, 後期は3月20日~。

4.液肥はOK-F-9(15-15-15)を所定の濃度に調整し、C型鋼の液肥がなくなった時点で補給。

[その他]

研究課題名 : ハイドランジアの底面給水栽培

予算区分 : 経常

研究期間 : 平成11年度 (平成9~11年)

研究担当者 : 國武利浩・荒木雅登・谷川孝弘・山本富蔵

発表論文等 : 平成9~11年度園芸研究所 野菜花き部 花き花木試験成績書